

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

地方創生につながる取り組み

SDGsは、「経済」「社会」「環境」の三側面できり立っており、国のSDGs推進本部でもSDGsを自治体の各種計画等に最大限反映することが奨励されており、SDGs達成に向けた取り組みの促進が行われています。

また、高齢化社会の日本における少子化、地域の人口減少に歯止めをかけるために地方創生の果たす役割は非常に重要で、地方創生はSDGsと密接に関係しています。持続可能なまちづくりのため、自治体におけるSDGsの達成に向けた取り組みは、地方創生の実現につながるものです。

自治体がSDGsに取り組むことのメリット

- 1 全ての住民の生活の質の向上
- 2 自治体固有の背景を踏まえた独自性のあるまちづくりの推進
- 3 経済、社会、環境政策の統合による相乗効果の創出
- 4 国内の様々な関係者間のパートナーシップの推進
- 5 グローバル・パートナーシップの推進
- 6 SDGsに取り組むことによる自律的好循環の創出

(一般財団法人建築環境・省エネルギー機構「私たちのまちにとってのSDGs(持続可能な開発目標)-導入のためのガイドライン-」より)

パートナーシップで課題解決

SDGsの17の目標はそれぞれが関わり合いながら課題の解決に向かって進んでいきます。つまり、1つの目標に取り組むことで、他の課題解決にも役立つこととなります。多くの人々が社会に参加し、立場が違う人たちが協力し合いながらそれぞれができる行動を起こすことで課題解決につながっていきます。SDGsを合言葉にみんなで課題解決に取り組みましょう。



※7月号からは、17の目標について、町での取り組みを交えながらSDGsの取り組みを具体的に紹介していく予定です。

※連載をスタートするにあたって、町の中高生ジュニアリーダーの皆さんにも取材に参加していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加は当面見送ります。

新連載 SDGs ~私たちにできること~

SDGs って知っていますか?
エスディー・ジーズ

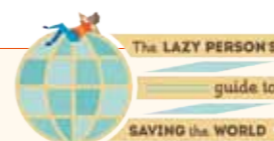
持続可能な開発目標
Sustainable Development Goals
(サステナブル ディベロップメント ゴールズ)

最近、テレビや新聞、インターネットなどで話題となっている「SDGs(エスディー・ジーズ)」という言葉。SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2030年までに貧困や不平等・格差、気候変動などのさまざまな問題を根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されており、誰一人取り残さないことを誓っています。

「貧困をなくそう」、「安全な水とトイレを世界中に」、「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」…。SDGsは、世界を変えるための壮大な目標ですが、政府や企業だけが意識すべき目標ではなく、私たち一人ひとりにも密接に関わっている問題です。SDGsを特別なものとしてではなく、自分ごととして捉え、それぞれの活動や生活の中に浸透させていくことが大切です。

今月号から「SDGs」について連載していきます。SDGsのゴールに向かって、できることから一緒に取り組んでいきましょう。まずは、身近で簡単なことからチャレンジ!



持続可能な社会のために誰でもできるアクション・ガイド

(国連広報センター アクション・ガイドより一部抜粋)

<p>レベル 1 ソファに寝たままできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気を節約しよう 電源タップを用いて電気機器の電源を切ったり、必要な照明以外は消しておこう ・紙を節約しよう デジタル付箋などを使って印刷はできるだけしない 	<p>レベル 2 家にもできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早めに冷凍しよう 食べ切れない時、生鮮品や残り物は早めに冷凍を ・リサイクルしよう 紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルすれば埋め立て地を増やす必要がなくなります 	<p>レベル 3 家の外でもできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物は地元で 地域の企業を支援すれば雇用が守られます ・マイバッグを持参しよう レジ袋は断って、いつもマイバッグを持ち歩くようにしましょう ・詰め替え可能なボトルを使おう 	<p>レベル 4 職場でもできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の権利を知ろう 労働者としての権利を知り、不平等と闘おう ・差別があったら、声を上げよう 性別、人種、性的指向、社会的背景、身体的能力に関係なく、人はみんな平等です ・通勤は自転車、徒歩または公共交通機関を利用しよう
--	--	--	---